



MYOKOハロウィンキャンプ



実施期間：令和5年10月28日(土)～29日(日)

目的・趣旨

ハロウィンをテーマとする活動の中で、子どもたち同士のつながりを作りながら非日常体験を行うことを通して、それぞれの挑戦のきっかけを与える機会とする。

なお、本事業については、「法人ボランティア自主企画事業支援プロジェクト」の取組みとして実施することとし、国立妙高青少年自然の家で活動する法人ボランティアが企画運営を行い、ボランティア・コーディネーターが指導・助言に携わるものである。

事業概要

【参加者数】 40名（小学校1～6年生）

【実施内容】 □ハロウィンクラフト

施設の周りにある自然物（枝や木の実）を使った衣装づくり

□ハロウィンナイトハイク

夜の施設を巡りながらハロウィンにちなんだ各種アクティビティを実施

□ハロウィンゲームフェスティバル

グループでハロウィンにちなんだ各種ゲームに挑戦

【外部指導者】（法人ボランティア） 企画コアメンバー 4名 当日参加 6名

事業のポイント

□ ボランティアの自主企画事業として企画から運営まですべてをボランティアが主体となって行った。

成果

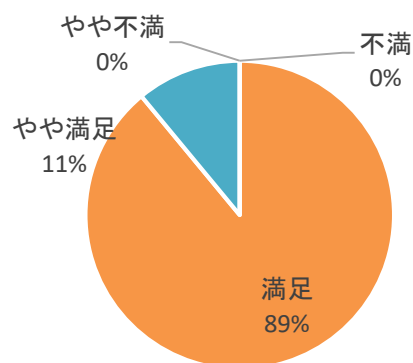
□ 参加者の事業全体をとおした満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて100%となった。

□ チラシの配布だけでなく、地域コミュニティのWeb情報誌に掲載してもらったことで、広く周知をすることができた。
結果として、定員30名を大きく上回る44名の応募があった。

□ 地域の農家さんから大きなかぼちゃをゆずっていただき、ジャックオランタンを作成した。ハロウィンらしい雰囲気づくりをすることができた。

□ ボランティアが企画から運営まですべてを主体的に行ったことで、ボランティアにとって貴重な学びの場となった。企画段階からねらいを明確に定め、それに基づいてプログラムを工夫することで、ハロウィンの雰囲気を十分に感じることもできる魅力的なプログラムを実施することができた。

参加者満足度



事業の様子



開会式（所長も仮装で登場）



企画を行ったボランティア



ハロウィンの衣装づくり



班ごとで記念撮影



夜のアクティビティ



ハロウィングেমフェスティバル



集合写真

詳しい様子はこちらより！



<https://youtu.be/rj9BePq9TiE>

自然の家 公式動画(YouTube)
妙高三三チャンネル



参加者の声

- 班のみんなとクラフトやゲームをしたことがたのしかった。
- 大学生のおねえさんと話したりあそんだりしたことがたのしかった。
- またきたい！かえりたくない！

課題

- 近隣大学のイベントと日程が重なってしまい、当日のボランティアの人数が少なかった。特にボランティアの自主企画でもあるので、十分なボランティア数が確保できるよう、日程調整の段階からボランティアと連携をする必要がある。